

令和6年度(2024年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	伊万里市立 青嶺中学校	生徒数	99人
-----	-------------	-----	-----

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	貸し出しシール800枚で、特大の絵本パズルを完成させ、図書室利用者を増やします！
	取組期間	令和6年(2024年) 4月 8日 ~ 令和6年(2024年) 11月 29日

※令和6年(2024年)4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和6年(2024年)11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

取組人数	114人	実施日数	134日	読書冊数	1735冊	連携した団体数	2団体
取組内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ①学級文庫の廃止 ②図書貸し出しパズル…804ピースのパズルを図書返却時にもらう ③ぶっくん(3週間に1度の巡回) ④読み語りグループ「おはなしどんどろ」(毎月第2火曜日) ⑤図書だより(毎月1回発行)5月、10月は職員、その他の月の表面は文化学習委員会の生徒がタブレットで作成して発行する。 ⑥ブックトーク(委員会の生徒と図書館司書)(5月) ⑦委員会の生徒による読み語り ⑧七夕まつり ⑨家読ゆうびんコンクールへの応募 ⑩しおりコンテスト ⑪季節の本の紹介 ⑫クリスマス会 クリスマスブック(先生おすすめの本の紹介) 						
工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> ①学級文庫の廃止 昨年度までは生徒が選書する学級文庫に新着本が配架されていた。その影響により、来館する生徒が少ない状況だった。今年度から学級文庫を廃止し、新着本を含めたすべての本を図書館に配架した。 ②図書貸し出しパズル…804ピースのシールパズルを図書館に設置した。図書返却時に1冊1ピースとしてシールを受け取り、パズルの完成を目指した。今年度中の完成を目標としていたが、貸し出し冊数が予想を上回ったために、11/18に完成した。新たに192ピースのパズルを追加しており、現在も楽しく取り組んでいる。 ③ぶっくん 文化学習委員会の生徒が選書して、集団貸し出しを行う。生徒からのリクエストを伊万里市民図書館へ随時連絡して対応してもらった。借りた本は教務センター前に棚カートで設置し、手に取りやすい環境作りに努めた。 ④読み語り 読み語りで使用された本を教務センター前に展示。読みたい場合は、センター 						

工夫したこと	<p>前のベンチや校内で閲覧できるようにしている。</p> <p>⑤図書だより 毎月発行している。4、5、10月は図書館司書が表裏の両面を書くが、その他の月の表面は委員会の生徒が各学年で担当している。新着本、赴任した先生のインタビューやおすすめの本の紹介、多読者の紹介などを行った。紹介された本を求めて図書室に来る生徒もいたため、読書推進に有効な方法と思われる。</p> <p>⑥生徒によるブックトーク 5月24日に図書室で文化学習委員会の2、3年生と図書館司書によるブックトークを行った。グループや個人でおすすめの本を紹介したもので、新入生だけでなく在校生も参加して話を聞いていた。</p> <p>⑦6月5日 朝読書の時間帯に委員会の生徒による読み語りを行った。読み語りの練習を各自で行い、当日に臨んだ。特に1、2年生は興味をもって聞いていた。</p> <p>⑧七夕まつり 7月に入り、七夕飾りをして短冊を書くスペースを作った。また、当日の4日は本についてのクイズを行い、正解者に手作りのしおりをプレゼントした。</p> <p>⑨家読ゆうびんコンクール 毎年、埼玉県三郷市が募集している「全国家読ゆうびんコンクール」に全校生徒で応募している。相手に伝えたいことを文章や絵で表現するもので、国語の授業と連携して行った。どの生徒も真剣に取り組んでいた。</p> <p>⑩しおりコンテスト 文化学習発表会の取り組みとして、これまではPOPコンテストをしていたが、今年度から好きなイラストなどでしおりを飾る「しおりコンテスト」に変更した。文化学習発表会前後に、保護者を含めた全校生徒による人気投票を行い、各学年の最優秀賞を決めた。副賞として、「購入図書リクエスト権」を進呈した。</p> <p>⑪季節の本の紹介 図書館司書が季節を感じる本を選んで、特設コーナーで紹介している。季節の飾りつけとともに生徒の興味を引いているようだ。</p> <p>⑫クリスマス会 今年から、クリスマスブック（先生おすすめの本）を行うことにした。英字新聞で包まれて書名の見えない本を、教職員が書いたメッセージカードを読んで選ぶ取り組み。プレゼント形式で包装紙を開くため、生徒も嬉しそうだった。</p>
取り組んだ感想	<ul style="list-style-type: none"> ・学級文庫を図書館に戻したことが良い効果をもたらした。図書館に来れば、新刊があり、季節の本を選ぶことができる環境であったため、生徒たちの読書推進につながった。学校図書館の貸し出し冊数は大きく増えた。令和5年度468冊に対して、令和6年度は11月30日までに1,054冊の貸し出しがあった。なお、ぶっくんでの貸し出し冊数は今年度、現在までで650冊であった。 ・今年度は文化学習委員会の委員長・副委員長が委員会の生徒をよくまとめ、積極的に委員会活動に取り組んだこともあり、ほぼ年間計画通りに進めることができた。 ・委員会の生徒が自作する「図書だより」は子どもたちの興味・関心に即しているものと思われる。生徒が自ら考えて作るため、自主性を伸ばす機会にもなった。 ・学校図書館司書の尽力により、生徒が楽しめる取り組みを準備・実施することができ、充実した活動になったと感じる。
<p>今後の取組予定 (令和6年(2024年)12月 ～令和7年(2025年)3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・12/19 クリスマス会 図書室に隠されたモノを探す「クリスマスミッケ」を行い、来館者を増やす。 ・多読者の集計・表彰 今年度の累計貸し出し冊数の集計と、他読者への賞状作成を委員会の生徒が行う。 ・図書館利用に関するルールの確認

②図書貸し出しパズル



2枚目突入



③ぶっくん
集団貸し出し利用
と貸し出し名簿



⑤図書だより

表面を生徒、裏面を図書館司書が書く。



⑥生徒による
ブックトーク



⑦七夕まつり



⑨家読ゆうびん
コンクール



⑩しおりコンテスト

